



変革に  
チャレンジ

若紫

題字 校長 石原 弘嗣

第21号 令和7年2月  
湘南学院同窓会「若紫会」発行  
〒239-0835  
横須賀市佐原2-2-20  
tel046(833)3433  
fax046(833)1177

新本部役員紹介



新若紫会会長  
白居秀文  
共学1期生

同窓生の皆様、日頃は同窓会活動にご理解とご協力をいただいております。今後とも同窓会へのご支援を心よりお願い申し上げます。2024年度より会長を務めさせていただきます。白居と申します。

在学中は生徒会役員（放送委員長）として活動しておりました。1期生で共学になった初めての生徒で女子校時代の先輩と苦難を乗り越えたりと良い経験ができました。同窓会では総会や清湘祭で同窓会員の皆様とお会い出来る事を楽しみにしております。

今後次の世代に円滑に交代する為の簡略化した仕組みや同窓会の公式LINE作成など新たに皆様と関わりやすい仕組み作りや同窓会の存在を広められるように役員一同努力してまいります。一人でも多くの方の同窓会へのご参加を心よりお待ちしております。



会計・藤田大洋  
共学12期生

藤田大洋です。今までより活動時間確保が難しいメンバーですが、ご協力お願いします。



会計・清水幸貴  
共学3期生

3期卒業生の清水です。仕事に出産、育児と中々時間がとれませんが、会計としてシステムの変化に対応出来るよう精一杯努めて参ります。何卒よろしく願います。



副会長・土居泰斗  
共学5期生

『若紫会』副会長土居です！これからも湘南学院のために海を超えて、精進努力いたします！



副会長・石川真美子  
昭和63年卒業

今年度同窓会『若紫会』副会長の石川真美子S63年卒です。至らない点は多々有るかと思いますが、PTAと同窓会二刀流、頑張りますので、宜しくお願い致します。



庶務・小野有灯  
共学21期生

この度、若紫会庶務に就くことになりました、21期生の小野有灯と申します。2023年3月に卒業致しました。専門学校を通いながらにはなりますが、皆様何卒宜しく願います。



庶務・里村和美  
平成12年卒業

この度、『若紫会』庶務に就くことになりました、里村和美と申します。2000年に卒業致しました。至らぬ点もあると思いますが皆様何卒宜しく願います。



会計・常田綾香  
共学13期生

こんにちは！13期生徒会長常田と申します。経理の仕事を活かし、会計として同窓会費を効率的且つ効果的に運用できるよう努めて参りますので何卒よろしく願います。

記事内、紫色は若紫会関連、水色は学校関連の内容です。

前回の会報誌に続き  
管理職の先生  
ご紹介



教学指導主幹  
矢島正敏 教諭

令和5年度より教学指導主幹に任命されました。湘南学院への着任は、男女共学1期生が3年生になった2002年4月で、初年度に3年F組の担任をさせていただいたことは懐かしい思い出です。授業は政治経済という科目を中心に担当し、校務分掌は時間割やカリキュラムなど授業に関わる教務という部署で長く仕事をしてきました。またハンドボール部を創部させていただきました。競技の面白さを生徒に伝えたいと思い指導をしてみました。私立学校は転動がないため、卒業生が学校に戻ってきて話ができるのは、教員としてとても嬉しいことです。社会で活躍し立派になった卒業生や、卒業してから初めて聞く在校生時代の話など卒業生との交流は私にとって特別な時間です。今年6月に行われた総会にて新旧役員交代があり、共学1期生の卒業生が新会長になり、月日の長さを不思議な思いで感じました。これからも卒業生が誇りに思える学校になるよう日々頑張りたいと思います。

(教学指導主幹 矢島正敏)

## 進路

多様化する社会で

昨年度の卒業生の進路結果は、大学短大が65%、専門学校が25%と90%が進学し、中でも大学進学者が増加しています。また、最終的に就職したのは15名で、就職希望者は年々減っています。高卒求人における人手不足になかなか貢献できていない現状があります。

進学において顕著な特徴としては、進路先の多様化です。近年本校から入学していない学校や東京神奈川以外の学校など、生徒たちは多岐にわたる進路先を選ぶようになってきました。スマートフォンを活用によって収集する情報が拡大したことなどの環境の背景もあるかと思えます。ひと昔前によく聞いた『親の敷いたレールに乗って』などという言葉は、まったく聞かなくなりました。生徒一人ひとりが自分なりの道を進むようになってきたように感じます。また、社会が多様化してきたことで、よりいっそう生徒たちは自らを理解し、何を選択し、どう生きていくのかを考えていかなければなりません。

そこで、1年生から3年生まで学習する『総合的な探究の時間』において、本校独自の『プログレスノート』や『Career Navi』の内容に自己理解を進めていくコンテンツを充実させています。自分自身の理解を始めとし、社会の在り方や社会問題を考え、社会の中の自分について順を追って学んでいきます。こういった取り組みが生徒の道の選択において、一助になってくれればと思います。生徒たちの多種多様な進路目標を実現するために、教員も学び続けていかなければなりません。その意義を生徒たちに日々教わっています。

(進路指導係サブリーダー 塩崎真理子)

## 生徒会活動を通して



生徒部生徒会  
指導係  
安達知恵 教諭

日頃より生徒会活動にご理解、ご協力を賜り、誠にありがとうございます。同窓会『若紫会』の皆様からは、上位大会に出場する部活動へのご支援や、清湘祭への多大なるご厚意をいただき、心より感謝申し上げます。

生徒会は、生徒会役員を中心に、学校行事や委員会活動、部活動において、各委員長や部長がリーダーシップを発揮しながら、それぞれの目標やより良い学校作り、また地域貢献を目指して日々活動しています。今年度は6月14日にスポーツフェスティバルが、9月27日・28日に清湘祭が開催され、『燦(Sun Sun)』をテーマに、全校一丸となつて取り組み、成功を収めました。清湘祭における若紫会のブースも盛況で、ボードゲームや卒業バインダーを背景にした写真撮影スペース、歓談や交流ができるカフェスペースなど様々な憩いの場を提供していただきました。毎年多くの在校生や卒業生がこのブースを訪れ、楽しい時間を過ごしているのを目にしています。

近年、教育現場ではコンピテンシー(行動特性)の重要性が高まっています。これは、目標達成に必要な高度な能力や行動力を指し、生徒会活動はその伸長に最適な場であると考えます。主体的に行動し、創意工夫を凝らして課題を克服する力は、次世代を創造する生徒の成長に大きく寄与し、将来の社会での活躍に繋がると信じています。今後も生徒会役員を中心に、活気ある未来に繋がる学校づくりに貢献していきたいと思えます。

(生徒部生徒会指導係リーダー 安達知恵)

総会



令和6年6月  
15日湘南学院高等  
学校多目的室

にて、同窓会『若紫会』総会を開催致しました。本年度は、役員改選と、大きな事案もありましたが、皆さま方にご賛同いただき無事総会を終えることが出来ました。

また総会前・昼食中と二度に渡り、吹奏楽部の皆さんに演奏していただきました。昼食中の大会議室では、昔懐かしい校歌等も演奏していただきました。大会議室には、『かもめ会』の方々の素晴らしい作品展示があり、ご出席された皆様を楽しませて下さいました。

午後は、美術の佐藤千博先生のご提案にて、らむ音さん（10期生）の落語講演が開催されました。私は人生初の落語でしたが、らむ音さんの語りで、その情景が見えて楽しめる体験に感動し、らむ音さんのファンになりました！人生まだまだ知らないことが多いと、後輩のらむ音さんに教わりました。

このご縁に感謝し、同窓会『若紫会』を今後も受け継いで行きたいと思えます。

（S63年卒業 石川真美子）

清湘祭



現在、若紫会では時代に合わせた活動を行うため、公式LINEの作成や広報誌のデジタル化、オンラインでの会議等、次世代へ繋げるための基盤作りを行っています。今回体制が代わり初となる清湘祭の企画は「ボードゲームカフェ」です。まず第一に卒業生や在校生に伝えたかったこととして、同窓会「若紫会」の認知です。在学中、毎月会費をお支払いいただいで活動しているため、卒業後も会員であること、



人生ゲームと  
ボードゲームで  
楽しむ来場者



若紫会会員であることで申請ができる補助金があることや若紫会の活動内容を知っていただきたいと思えました。お越しいただきました方には無償でお飲み物と駄菓子をお渡しし、ご用意したボードゲームで遊べる憩いの場として企画しました。参加してくださいました卒業生、在校生は若紫会を認知されていない方も多くいらっしゃいました。少しでも認知するきっかけになればと思っています。来年以降の清湘祭では公式LINEを大々的に公開し、運営出来たらと考えております。どうぞよろしく願いたします。

（共学12期生 藤田大洋）

生徒会役員と  
懇親会



同窓会室にて  
お食事をしながらの懇親会

3月11日同窓会室にて、現生徒会役員3名と若紫会役員7名で懇親会を行いました。

生徒さん方の印象は明るく、元気で、思考力、行動力があり、何事も成し遂げるといふ強い意志を感じました。

私が持参したアルバムを見て、制服や当時の先生方の一言が入っているソノシート（レコード）に関心を持っていただいた様でした。卒業後は、若紫会の活動にも、興味や関心を持っていただきたいと思います。この機会をいただいたことで、接することの無い世代の方と楽しく親睦を深めることが出来ました。

（S52年卒業 高橋房子）

## 山中湖セミナーハウスの歴史と思い出 記念冊子作成

昨年惜しくも閉館とされた山中湖セミナーハウスの記録として、記念冊子を制作してくださった元教諭の地崎先生と岩崎先生に記事をお願いしました。

### 地崎先生

『作成の経緯など』

山中湖寮が売られてしまうということで、『若紫会』の呼びかけで、昨年(令和5年)夏に現旧教職員と『若紫会』会員らで寮を訪れた。バスの中で寮の思い出を語り合った。寮(セミナーハウス)の姿を福本さんが隅から隅まで写真に収めた。

帰りのバスの中で、岩崎さんに、それらの写真をまとめて保存したらと言われたのがきっかけで、せっかくだから卒業生らの寮の記録を載せたらということで、中村前会長、岩崎さんと私で、学校に残っている昔からの記念文集(当時毎年国語の課題)から、何人かの山中湖寮のことを述べている作品を探した。また、現旧教職員や『若紫会』会員にも呼び掛けて、思い出を寄せてもらった。

最終的に30名程の思い出を集めることが出来た。教員合宿の思い出、部活動での合宿や教職員の家族旅行など、いろいろな思い出が寄せられた。管理人野口さんへの感謝の気持ちを多くの方たちが述べておられたのが印象的だった。

元社会科教諭(S40)H18在籍 地崎広

### 岩崎先生

昭和40年に設立された木造の山中湖寮から、平成元年改築されたセミナーハウスに至るまでの58年間、2万有余に及ぶ卒業生、そして教職員に、数々の思い出を残してきた施設が、昨年売却されて、その姿を消す。

その消滅を惜しんで、昨年夏、同窓会『若紫会』が、お別れのバス旅行を実施。その際同行した卒業生、現在フォト・ゲーディング部のコーチを勤める福本花江さんが、セミナーハウスの全容を隈なくカメラに納めていた。帰りのバスの中で、それらの写真を一冊のアルバムにまとめ、学校に永久保存しては、との私の発言が余波を招いて、この文集の作成にまで至った。

過去の記録は伝統を重んじる私学にとって何より重要なものだ。学校にはその企画が無いようなので、同窓会が主体となり、中村会長と役員の方々、それに地崎広さん(この文集の構成とパソコン入力)、彼が独りで行った)と私が加わって編集にあたった。

『生徒達の思い出』には、学校が保存する記念文集から、御本人には無断で引用させていただいたことを御容赦願いたい。『教職員達の思い出』に、快く寄稿して下さい。皆さんには心からの感謝を。

そして何よりも、二世代に涉り、寮の管理を勤めて下さった野口さんご一家には、改めて、深甚なる敬意と感謝の念を表したい。

令和6年5月 ※記念冊子編集後記より引用

元国語科教諭・進路指導(S42)H30在籍 岩崎幸二

## 昭和7年～初代セーラー服



昭和6年4月  
軍港裁縫女学院創立  
次年度から制服が導入される

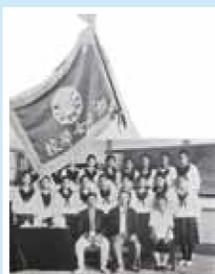
### 制服の歴史紹介



90年以上前の高校生が体操を行う姿  
現校舎内制服展示のコーナーには  
当時のセーラー服も見られる



戦時中の『もんべ』と  
セーラー折衷姿



出展：三十年の歩み、五十年の歩み、卒業アルバム他

## 若紫会の名前の由来

●名付けたのは学院創立者『白戸光久先生』です。  
先生は海軍大学に入学、国・漢の免状を授与され、教員として、茨城及び東京で教鞭をとり、横須賀に居住されました。当時女子教育を行う学校がなく、『軍港裁縫女学院』を創立。ここでは裁縫のみではなく、礼儀、躰、学問が学べました。

卒業生の会は、白戸先生自身が、源氏物語の中より『若紫』と命名。共学に伴い、同窓会として会の名称を再検討しましたが、『若紫』は男女ともに共通するのではないかとの見解に達し、名称変更は見送り、現在に至っています。

(顧問 清水明子)

## 卒業生の活躍

### 【らむ音さんインタビュ】

11月9日 リモートにて

令和6年度若紫会総会にて落語会を開催。この時のご縁でインタビュをさせていただきました。

(誌面に限りがある為要約して掲載)

#### 【経歴】

日系ブラジル3世

湘南学院高等学校共学10期卒業

武蔵野美術大学空間演出デザイン学

科インテリアデザイン片山ゼミ卒業

落語家らぶ平一門に入門

2022年 ニツ目昇進

2023年 Z a b u r i グランプリ

準優勝

日本語・英語・ポルトガル語を操り

高座に挑む



総会時の高座にて

#### 【高校時代】

共学10期生美術専攻。幼少期日本語が上手に話せずいた子が明るく元気で誰とでも付き合えるようになっていた。クラスでは文化委員を勤める。学校は時々遅刻しながらも横須賀駅近くのヴェルニー公園で薔薇を見るのが好きだった。

芸術専攻者の晴れ舞台『卒業制作展』にて、赤・青・黄の単色で、最大サイズのキャンバスいっぱい人の顔を描いて出品。

#### 【大学時代】

武蔵野美術大学ではインテリアデザインを学んだ。

アメリカ留学時ハリウッドにて裏方を経験し、偶然TV料理番組出演の機会を得る。この偶然の出会い、経験により帰国後役者の道にのめり込んでいった。

#### 【師匠と運命の出会い】

大学卒業後、沢山のオーディションを受ける中、落語家らぶ平師匠との縁をいただき落語に興味を持ち始め、師匠の人間性と人柄に惹かれていく。

『舞台と違い落語は一人で全てを作り上げることが出来る』と落語家の道に誘われらぶ平師匠に弟子入りすることになる。

#### 【在校生に向けて】

『周りの人から現実を見る

さいと言われても挑戦する前に諦めないで。諦めた理由を誰かのせいにする後悔すると思う。

自分は特別絵が上手だったわけでもなく、周りからも現実に考えたらハードルは高いと思われていたが、諦めずに受験し、大学に入り色んな人に出会えた。

役者になった時も美大に入ったのになぜ？と言われ、いつも壁はあるが、今も挑戦し続けている。』

幼少期日本語に苦手意識のあった彼女はこう語り、今では日本人にも難しい古い言葉を使いこなし高座に上る。

#### 【夢と希望】

三か国語で話す『寿限無』は、らむ音さんの十八番。夢は『落語を世界に広めてみんなを笑顔にしたい！』と笑う。

スポーツが好きで、スカイダイビングで落ちながら寿限無に挑戦。『空』は完了。残る『陸』・『海』も制覇を目指す。挑戦を続ける若き卒業生を今後も応援し続けていきたい。

らむ音さんの活動・活躍詳細を学校HP卒業生コーナーにて紹介させていただく予定です。時期は未定。掲載の際はHPでお知らせします。

### 【かもめ展】横浜

『みなとみらいギャラリーA』 8月14日〜18日

芸術系同窓会『かもめ会』は、一年に一回横須賀と横浜で交互に『かもめ展』を開催しています。2020年には佐藤千博先生の退職祝いの合同展示会を開催する予定でしたが、新型コロナウイルスの影響で延期され続けていました。しかしこの度、やっと実現出来ました。湘南女子時代から湘南学院までのたくさんの方の卒業生が集まり、色々な平面や立体作品を広い会場内いっぱい展示して、796名の来場者に見てもらえました。



作品展示の準備では、展示配置の場所決め等、会場全体のバランスを取るのが難しい面もありました。一方、脚立に乗って各作品に当てる照明の角度調整等の作業は、楽しかったです。今回は全員でスプレッドシートを使って会計や役割分担、作品紹介を作成し、時間短縮を図ることができました。

今回参加したことで、他の卒業生と交流することが出来て、とても貴重な体験がたくさん出来ました。(H11年卒業 東訓代)

### クラス会

6月1日に、平成4年度卒業3年13組の同窓会を開きました。地崎先生(社会)もご出席くださり、19名で行われました。

50歳という人生の節目に、10代の3年間をともに過ごした恩師と仲間たちと笑い合えたことを、大変嬉しく思いました。

32年もの月日が流れたとはとても信じがたく、心は年を取らないと、実感した日となりました。又の再会を楽しみにしています。(H5年卒業 鈴木真貴)



### 同窓生 リレー紹介



共学1期生  
志賀直人さん

湘南学院高等学校の第1期生の志賀直人と言います。湘南学院に在学していた当時は生徒会会長として、湘南学院の清湘祭とその他の様々な学校行事の運営を行わせていただきました。

当時の湘南学院は、今の横須賀中央、ヤマダ電機の建っている場所にありました。グラウンドは小さかったですが、その場所で清湘祭の時に打ち上げ花火をしたのが非常に印象に残っています。現在私は横浜市で理科の教員をしております。教え子が湘南学院に通学したこともあり、今でも縁を感じる日々を過ごしています。教え子達に湘南学院での生活を聞いたところ、毎日楽しく過ごしていると返ってきましたので、私達が通っていた頃と変わらない学校生活を送っていると思えました。これからも卒業生の一員として、湘南学院の益々のご発展をお祈りしています。

### 学校への補助

#### ☆学校支援費

- 《令和5年度分》
- 3月 卒業式（スタンド花）、卒業証書ホルダー
- 《令和6年度分》
- 4月 入学式（スタンド花、祝電）
- 学校職員親睦会御祝
- 5月 激励費関東大会（女子サツカー部）（空手道男子団体 型・組手）（剣道部個人・団体）（ゴルフ部個人・団体）
- 学校へ製水機購入補助
- 7月 清湘祭御祝
- 8月 後援会会費
- 10月 激励費関東大会（陸上部個人）（女子サツカー部）
- 12月 激励費関東大会（ゴルフ部個人）
- 学校職員慰労会御祝
- ☆会員支援費
- 《令和5年度分》
- 1月 H14年卒クラス会『同窓会』補助費
- 《令和6年度分》
- 4月 鈴木教頭書道展御祝、佐藤千博教諭展覧会御祝
- 6月 H15年卒クラス会『同窓会』補助費
- 8月 鈴木教頭書道展御祝、かもめ展（同窓生グループ展）御祝
- ☆慶弔費
- 《令和5年度分》
- 2月 前役員2名
- 《令和6年度分》
- 訃報
- 5月 旧学校役員令夫人、旧職員2名
- 7月 職員御尊父様、会員1名
- 8月 旧学校役員1名
- お見舞
- 7月 役員会員1名
- 8月 役員会員1名
- ☆予備費
- 《令和5年度分》
- 1月 お年賀（学校へ）
- 《令和6年度分》
- 4月 電気使用量（学校へ）
- 5月 セミナーハウス冊子制作
- 7月 団体総合生活補償保険加入
- 1月 お年賀（学校へ）



### 学校公式 LINE スタンプ



創立90周年のお祝いに合わせて卒業生に依頼しLINEスタンプを制作しました。

QRコードから購入できます！

### お知らせ

同窓会を開催する場合はお近くの若紫会役員までご連絡を！

2025年度総会・催し物等につきましては、後日学校HP卒業欄をご覧ください。

ご連絡先はHPにてご確認ください。

同窓会をする時は若紫会まで連絡を  
援助するよ！



<https://shonangakuin.ed.jp/>

### 編集後記

21号をお届けします。今年度6月15日の総会にて旧役員は退任し、新本部役員に交代しました。

旧役員メンバー3名が会報係として今回制作に関わりました。

今後は新役員とも助け合いながら、より楽しく会報制作が進むことを望んでいます。



山中湖セミナーハウス  
お別れバスツアーにて  
(令和5年8月22日)

●記事内イラスト制作  
(H12年卒業  
すずきうらら)